夢や希望を胸に新たな第一歩
～令和２年南九州市成人式～

▲第1部司会進行の上赤拓矢さんと藏前由夏さん。

▲新成人から送られたワイヤレスアンプが、実行委員の皆さんから知覧特攻平和会館に寄贈されました。皆さんありがとうございました。

１月３日、知覧文化会館で成人式が開催され、新成人301人（男性152人、女性149人）が出席しました。オープニングセレモニーでは、知覧武双太鼓による勇壮で華麗な太鼓の演奏が、会場の人々を魅了しました。第１部式典では、式辞や祝辞が贈られたのち、新成人を代表して後田壮志さんと鶴田優梨香さんから、20歳としての抱負や感謝の気持ちが述べられました。第２部の実行委員会主催行事では、中学生時代の写真や恩師からの激励のメッセージが上映されたほか、豪華賞品が当たる抽選会も実施され、会場は新成人の笑顔と笑い声であふれていました。新成人は、多数の来賓や保護者の方々など、出席者から祝福され、社会人としての責任と自覚を胸に新たな第一歩を踏み出しました。

▲地元特産品や様々な賞品が当たった抽選会。

▲新成人を代表してスピーチする後田壮志さんと鶴田優梨香さん。

▲式の企画･運営に携わった成人式実行委員の皆さん。

～ 出身中学校別の記念写真 ～

頴娃中学校

川辺中学校

青戸中学校

別府中学校

知覧中学校

まちの話題

南 ～だれでも参加できるオープンな活動～ 九州市手をつなぐ育成会

11月22日、全国社会福祉大会において、南九州市手をつなぐ育成会が令和元年度ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を受けました。平成４年から手をつなぐ育成会の知覧地域活動として、毎月第３日曜日の午前９時から特攻観音堂の清掃や周辺の草取り、落ち葉拾いなどの清掃ボランティア活動を行っており、その永年の功績を表彰されたものです。

▲ボランティア作業を終え、表彰状を囲み、受賞を喜ぶ皆さん。

1 ～下野キミエさん（頴娃町上別府）～ 00歳おめでとうございます

下野キミエさんが100歳の誕生日を迎えられました。12月17日、市長がキミエさんの元を訪問し、家族、施設の皆さんで長寿のお祝いをしました。普段から感謝の気持ちを忘れずに過ごされているようで、市長から花束とお祝い金が手渡されると、うれしそうに受け取り「家族、施設の皆さんのおかげで長生きすることができました。ありがとうございます」とおっしゃっていました。

▲現在、施設で生活され、間違い探しや塗り絵などをして毎日楽しく過ごされているそうです。

夢 ～これからの学校生活や将来のために～ の懸け橋 講演会

11月28日、川辺文化会館にて「夢の懸け橋」講演会を実施。この講演会は、市内の全中学生を対象に、キャリア教育の一環として、さまざまな分野で活躍されている方の話を聞くことで、ものの見方や考え方、生き方を学び、これからの学習や自分自身の進路選択、将来設計に生かすことを主なねらいとして、「きばいやんせ南九州市ふるさと基金」活用事業の一部として今年度から始まりました。

▲明治大学文学部教授の齋藤孝先生をお招きし、「自分を活かす極意」というテーマで講演をいただきました。

経 ～全国優良経営体表彰～ 営改善や農業振興に尽力

12月27日、知覧町永里の松村孝徳さんが、全国優良経営体表彰経営改善部門全国担い手育成総合支援協議会会長賞の受賞報告に来庁。採卵鶏を中心にキャベツ・水稲を栽培し家族経営協定により役割を分担。地域の養鶏農家と共同で鶏卵の販売法人を設立し、キャベツ生産への鶏糞100％利用や高品質な米作りに努めるなど経営の安定化に寄与。地域リーダーとしても活躍されていることが評価されました。

▲賞状を手にする松村孝徳さん（中央）と南薩地域振興局 鳩野哲也農政普及課長（左）。

永 ～13年ぶりの地元披露～ 田日送り踊り

11月23日、「永田日送り踊り」が川辺町宮飯倉神社と永田九玉神社へ奉納されました。この踊りは江戸時代に中国に漂着した人々が覚えてきた踊りを永田の人々が習ったものと言われ、笛や拍子木にあわせ色々な姿の踊り手が仮面をかぶり面白おかしく踊る珍しい踊りです。

▲この踊りは、市の指定文化財に指定されていて、当日は昼過ぎから夕方まで集落に笛や拍子木と明るい笑い声が響いていました。

人 ～松原小学校～ 権の花 運動　閉会式

12月６日、「人権の花」運動の閉会式が松原小学校で行われました。学校では、みんなで協力してヒマワリの種を蒔き、12月ごろまで大きな花を咲かせました。宮内健義人権擁護委員から児童代表の有村璃胡さんに感謝状が贈られ、中野美菜江さんが、お礼を述べました。

▲「これからも優しい心と思いやりの気持ちで友だちを大切にします。」と中野美菜江さん。

美 ～牛乳消費拡大キャンペーン～ 味しく楽しく体験学習

12月18日、知覧幼稚園にて市酪農振興会主催の牛乳消費拡大キャンペーンが行われました。このキャンペーンは、牛乳の良さを広く知ってもらおうと毎年行っているものです。園児たちは、本市職員の話やバター作り体験、子牛とのふれあいを楽しみました。

▲子牛に聴診器をあて心音を聴く園児たち。

市 ～知覧町たけのこ振興会～ 役所前に立派な門松を設置

12月20日、知覧町たけのこ振興会の皆さんにより、市役所知覧庁舎に新年を迎える立派な３段の大きな門松が飾られました。恒例となったこの取り組みは、門松づくりの伝承と林産物の活用を目的としており、今年は、新たに２人の仲間が加わり、作業をしてくださいました。

▲知覧町たけのこ振興会の皆さん。

農 ～キャベツ収獲機実演会～ 事改良への懸け橋に

12月24日、頴娃農業開発研修センターで、農作業安全講習会およびキャベツ収穫機実演会が開催。農作業事故のリスク対策講話や、キャベツ収穫機・無人で操縦できるロボットトラクターなどの実演が行われ、参加者たちは、先端技術による省力・効率化を実感しました。

▲担い手の高齢化や就業者の減少などの課題解決の一つとして、スマート農業への期待が高まっています。

南 ～南九州市と平川市の中高生交流～ 九州市青少年国内派遣事業

12月25～28日の４日間、青少年国内派遣事業が行われ、市内中学生５人が青森県平川市を訪れました。子どもたちは、ホームステイや雪国ならではの体験活動を行い、異なる生活習慣や文化を体験しました。家庭や子どもたち同士の絆を深め、貴重な交流の場となりました。

▲アイススケート体験では悪戦苦闘しつつも、平川市の子どもたちにも教わりながら楽しんでいました。